

新城島津家の墓地

新城の領主・新城島津家

新城島津家の領主の墓碑は、神貴神社南側の浄瑠寺の跡地に祀られています。新城島津家がいつから末川家と呼ばれるようになったかは、異論があります。『垂水市史』には、再興した2代忠清から垂水次男家として末川姓となったと書かれています。鹿兒島県史料の旧記雑録拾遺『家わけ十一』では「末川家は、江戸時代に新城島津家と呼ばれていたが、明治以降の久治の時代に末川氏と称した」と書かれています。

新城島津家は、垂水島津家第4代久信の庶子で新城様の孫にあたる久章が創設しました。新城様は宗家島津義久の二女であり、新城に隠居

り再興しました。その後、明治2年の私領奉還まで新城島津家は続きました。

歴代領主の墓碑

初代久章の墓碑は、鹿兒島市の谷山の清泉寺跡にあり、新城の浄瑠寺の跡地には2代忠清の墓碑があります。その他の領主の墓碑は鹿兒島市の南林寺にありましたが、明治2年(1869)年に、廃仏毀釈により廃寺となったので、久治により明治41年(1908)年に、新城の浄瑠寺に合祀されました。

そして昭和63(1988)年には、改めて梵字の銘が刻まれた碑も祀られました。墓地には、浄瑠寺の住職であった義雄の墓や貴明寺時代の背面菩薩等もあります。また、ここから約100m右上にある貴明寺跡地の新城様の墓碑の隣には、4代久龍が祀られています。新城島津家は、領地の発展に尽くしたため、領民に慕われ、その後も子孫の方々が現在まで、歴代の領主たちの墓を守り続けております。

歴代領主

初代久章	(1616)	〜	(1645)
2代忠清	(1639)	〜	(1672)
3代久侶	(1655)	〜	(1697)
4代久龍	(1680)	〜	(1747)
5代久隆	(不)	明	(1758)
6代久租	(不)	明	(1757)
7代久照	(不)	明	(1832)
8代久備	(不)	明	(1840)
9代久輔	(1782)	〜	(1798)
10代久徴	(不)	明	〜
11代久寛	(1807)	〜	(1854)
12代久紀	(1829)	〜	(1852)
13代久治	(1840)	〜	(1869)



▲新城島津家(末川家)の墓碑

(垂水市文化財保護審議員・山田義之)

SECOND SEASON 食改 キッチン

Healthmate recipe of this month 食改の三役さん



左から 立山道子さん、松元照美さん、市野美里子さん

3月初旬に立山会長をはじめとする三役の皆さんで、令和4年度1年間の計画(案)が話し合われました。

今月のレシピ 豚肉の野菜巻き



- 【材料】(6本分)
- 豚ロース(生姜焼き用) / 6枚(170g程度)
 - 人参 / 40g
 - ごぼう / 70g
 - いんげん / 12本
 - えのきだけ / 1/2袋
 - サラダ油 / 小さじ1
 - だし汁 / 400cc
 - 醤油 / 大さじ1
 - 料理酒 / 大さじ1
 - みりん / 大さじ1
 - 砂糖 / 大さじ1弱

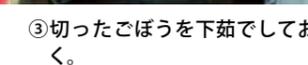
⑧の工程の後に、1度お湯で茹でると豚肉の余分な油が落ち、よりヘルシーな1品になります。春からの新生活、お弁当の1品にいかがでしょうか?



①人参は長さ7cmの1cm角に切る。



②ごぼうは長さ7cm、縦に2〜4等分に割る。



③切ったごぼうを下茹でしておく。



④いんげんは、ヘタと筋を取り除き、7cmの長さに切る。



⑤えのきだけは石づきを取り除き、7cmの長さに切る。



⑥肉を広げて、①〜⑤の野菜を巻く。



⑦フライパンにサラダ油を熱し、⑥の巻き終わりを下にして、焼き目を付ける。



⑧⑦全体に焼き目が付いたら、余分な油はキッチンタオルに吸わせて、取り除く。



⑨⑧にだし汁と調味料を加え、20分程度煮て、器に盛りば...



【1人あたり】
エネルギー 120kcal
食塩相当量 0.6g

食改完了